

道徳学習指導案

令和3年11月19日（金） 第5校時 4年1組（教室） 指導者：

1 主題名・資料名

- 主題名 友達のことを考えて（内容項目：B 10 友情、信頼）
- 人権教育 重要課題（2）子どもたち
- 資料名 絵はがきと切手（日本文教出版）

2 考察

（1）価値観

本主題は、第3学年及び第4学年の内容項目（B 友情、信頼）「友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。」に基づくものである。児童にとって友達関係は最も重要な人間関係の一つであり、友達関係の状況によって学校生活が充実するか否かが方向づけられることも少なくない。4年生頃の発達段階の特徴として、活動範囲が広がることで集団との関わりも増え、友達関係も広がってくる事が挙げられる。その中で、自分の利害にこだわることにより、時には友達とトラブルを起こすことも少なくない。友達のことをよく理解し、信頼し、助け合うことで、健全な仲間集団を積極的に育成していくことが大切であると考ええる。

そこで、友達を大切に思うことについて多面的・多角的に捉え、友達のよさを発見することで友達のことを理解したり、友達とのよりよい関係の在り方を考えたり、互いに助け合うことで友達の大切さを実感したりしながら、道徳的実践意欲を育てたいと考え、本主題を設定した。

（2）児童の実態

（省略）

（3）資料観

本資料は、友達を信頼することの大切さや友達とのよりよい関係の在り方について考えられる資料である。資料の内容は、転校していった仲良しの友達（正子）から自分（ひろ子）のところへ郵便料金不足の絵はがきが届き、返事を書くときに料金不足について教える方がよいか教えない方がよいか、母と兄の意見を聞いて考えたところ、教えようと思いつき返事の手紙を書き始めるというものである。資料の最後の部分でひろ子を選択した行動は、友情、信頼の基盤となるものである。

ひろ子は、料金不足について正子に教えると正子がいやな気持ちになるのではないかと、仲良しの友達を思いやる場面がある。その上で、児童には母の意見と兄の意見のそれぞれの根拠となる人間理解・他者理解の道徳的価値にも気付かせながら、どうしていくことが自分や友達にとってよいことなのかを多面的・多角的に考えさせ、料金不足について正子に教えようとするひろ子の姿に、価値理解を見出させていきたい。

最後に、本資料を通して学習したことを児童一人一人が振り返ることで、自己の生き方について考えを深め、友達を信頼しよりよい人間関係を築こうとする意欲を高めていくことができると考える。

3 人権教育とのかかわり

本主題をとおして、人権教育の重要課題における「子どもたち」に関係する学習として取り組んでいく。

日常生活を充実させるために、自分も自分の周りの人たちも日々の生活を心豊かに過ごしていくことは、大事なことである。心豊かに過ごすために大事なことのひとつとして、よりよい人間関係を築くことが考えられる。子どもたちにとって、自分の周りの人たちの中で友達の存在は大きいところであり、どのように友達とコミュニケーションを図るかによって、友達との関係が変わってくると言っても過言ではない。友達と一緒に過ごすことで楽しさ、嬉しさ、喜び

を共に感じたり、悲しさ、寂しさ、辛さを分かち合ったりできる。友達と関わる中で自分の言動を振り返り、人との関わり方について学ぶこともある。このように過ごす中で、子どもたちは自他のよさや大切さに気づき、互いに支え合おうとする態度を身に付けていくのではないだろうか。

相手に対してかける言葉一つとっても、相手の気持ちを温かくさせるものもあれば、相手を傷つけてしまうものもある。相手を傷つけるつもりではなくても、もしくは、相手のためを思った言葉であっても、自分が発した言葉が相手にどのように受け取られるかによって、その後の関係に影響を及ぼすこともある。新型コロナウイルス感染症の予防のため、日常的にマスクをしている学校生活においても、友達の表情が読み取りにくかったり、言葉が聞き取りにくかったりとコミュニケーションを図りにくい状況がある。また、SNSの発展により、友達の表情が見えない中での交流に、戸惑うこともあるだろう。このようによりよい友達関係を築きにくい場合、それは時にいじめにつながることもある。

一方、日常的な友達との関わりの中で、相手のよさを認め、自分のよさも認められ、優しさを持って互いのことを思いやり、信頼関係を築いていくことで、相手のことが理解でき、互いに支え合おうとする気持ちが育まれる。そして、いじめを防止することもできる。学校生活において、良好な友達関係を築くことは、子どもたちにとって心豊かに過ごすことに直結している。児童期に、このような良好な友達関係を育んでいくことで、その後の人生においてもよりよい人間関係を築き、心豊かに過ごしてほしいと願う。

【育てたい能力・態度】

- 知 性：相手を信頼することの上に立ち、親切や思いやりの気持ちが関係づくりに大切であることが分かる。
- 実践力：日常生活の中で自分なりに友達のよさを見付け、よりよい関係づくりをしようとしている。

4 本時の展開

(1) ねらい

ひろ子が手紙を書き始める場面で、正子に対して「きっとわかってくれる」というひろ子の思いを考えることを通して、友達を信頼することの大切さがわかり、これからの生活に生かそうとする態度を育てる。

(2) 準備

タブレット(鞆用)、大型モニター、顔絵、場面絵、教科書、道徳ノート、ワークシート

(3) 人権教育の視点

- 知 性：よりよい友達関係を築くために、友達を信頼することの大切さがわかる。
- 実践力：友達のよさを認め信頼することで、よりよい関係づくりをしようとしている。

(4) 展開

学習活動 ・予想される児童の反応	時間	○指導上の留意点及び支援 ◇評価 【人権教育で育てたい能力・態度】
<アンケート>複数回答可 ・自分にとって友だちは____(な人)である。 めあて 友達について考えよう	5分	○アンケートの結果を、大型モニターに映す。 ○共に成長し合うような回答にも触れ、本時のめあてにつなげる。
○資料「絵はがきと切手」の範読を聞く。	10分	○資料の範読の前に、郵便料金について説明する。 ○大型モニターにデジタル教科書を映し、デジタル教科書の範読を聞かせる。

○絵はがきをもらったひろ子さんはどんな気持ちだったろう。

- ・うれしかった。 ・きれいだな。
- ・会いたいな。 ・元気そうだな。
- ・これからも友達でいたいな。

○お話の中で何が問題なのかを確認する。

- ・はがきの料金がたりない。

○母と兄の意見について、それぞれの理由を考える。

<予想される児童の考え>

母：お礼だけ言う

- ・伝えていやな思いをさせてしまうかもしれない。
- ・友達なんだから少しぐらい料金が不足してもいいと思う。
- ・せっかくきれいな絵はがきを送ってくれたのだから、そっとしておこう。
- ・正子の気持ちだけ受け取ろう。

兄：料金不足を教えてあげる

- ・間違えたことは正した方がいい。
- ・友達なんだから教えてもきっとわかってくれる。
- ・違う人にも同じことをしてしまうかもしれないから教えた方がいい。
- ・次に会うとき気持ちよく会えるだろう。

○絵はがきをもらってうれしかったことから、ひろ子にとって正子は大事な友達であることを感じさせた。

○絵はがきを受け取ったひろ子が郵便料金の不足を払わなければならないことを確認する。

○児童は、母の意見、兄の意見それぞれの理由について、ワークシートに記入する。

○全体で共有する際に意図的に指名することで、人間理解や他者理解の価値に気付かせる。

○母の意見の理由、兄の意見の理由についての児童の意見を板書し、中心発問での価値理解に生かせるようにする。

○ひろ子はどのようなことを考えながら手紙を書き始めたのだろう。
(中心発問)

- ・個人で考え、道徳ノートに記入する。
- ・グループで考えを共有する。
- ・全体で考えを共有する。

<予想される児童の考え>

- ・大切な友達だから教えてあげよう。
- ・仲良しだから怒らないで聞いてくれる。
- ・正子さんはきっと私の気持ちをわかってくれる。
- ・大事なことを教え合って今よりもわかりあえるかもしれない。
- ・まちがったことも教え合えるのが本当の友達かもしれない。
- ・本音で話せる友達になりたい。
- ・仲良しでいたいけど、正しいことを教えてあげるのも友達役目だと思う。

2 2 分

○ひろ子は手紙の最後に郵便料金不足分について書き足そうとしていること、その時に急に気持ちがすっきりしたことを確認する。

○グループで共有する際には、自分と同じ考えや似た考えはないか、友達の考えのよいと思うところはどこか考えながら、友達の考えを聞かせる。

○友達の考えを聞いてもっと深く聞いてみたい場合は、「どうしてそう思ったの？」と質問させ、グループで考えを出し合うことで一人一人の価値理解を高めさせる。

○全体で考えを共有する際には、自分の考えを発表させるほかに、友達の考えでよいと思ったことや、自分にはない考えに気付かされたことなども発表させる。

◇手紙を書き始めたひろ子の気持ちを考えることで、友達との関わり方について多面的・多角的に

		<p>捉え、友達を信頼することの大切さが分かる。</p> <p style="text-align: right;">【知性】</p>
<p>○今日の学習を振り返ろう。</p> <p><予想される児童の反応></p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達だから、教えてあげることもあるし、自分が教えてもらうこともあるかもしれない。 ・自分のことも友達にわかってもらえたらいいな。 ・自分が友達から教えてもらったら「ありがとう」と言いたい。 ・一緒に遊ぶだけじゃなくて、心の中も友達になりたい ・自分を成長させてくれる人が友達だと思った。 ・信頼し合うことで、もっと絆が深まると思う。 	<p>8分</p> <p>○道徳ノートにある「しっかり考えた」「新しく気づいたことがあった」「これからたいせつにしたいことがわかった」の項目について、あてはまるものに印をし、その理由を記入させる。</p> <p>○どの振り返りにも「自分を成長させる素晴らしいことが書いてある」と、児童が自分自身を振り返れたことを認める。</p> <p>◇友達のよさを認め理解し合い、信頼する気持ちを大事に、今後の生活にいかしていけるようにする。</p> <p style="text-align: right;">【実践力】</p>	

(4) 評価の観点

- 友達との関わり方について多面的・多角的に捉え、友達を信頼することの大切さが分かる。
- 友達のことを信頼するということはどういうことか、考えを深め、今後の友達関係に生かしていこうという実践への意欲が高まっている。

(5) 板書計画

○今日の学習を振り返ろう

絵

- ・友達だから教えてあげよう。
- ・仲良しだから怒らないで書いてくれる。
- ・きつと私の気持ちをわかってくれる。

○ひろ子はどのようなことを考えながら手紙を書き始めたのだろう。

- ・間違えたことは正した方がいい。
- ・友達だからきつとわかってくれる。
- ・違う人にも同じことをしてしまうかもしれない。
- ・次に会うときに気持ちよく会える。

めあて 友達について考えよう

絵

→

絵

絵はがきの料金がたりない。

母 お礼だけ言う

- ・いやな思いをさせてしまうかもしれない。
- ・友達だから少しくらいいいかな。
- ・せっかくきれいな絵はがきを送ってくれたのだから、そつとしておこう。
- ・正子の気持ちだけ受け取るう。

兄 料金不足を教えてあげる